

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（9月）

留学先：天主教輔仁大学

氏名： 藤堂智江

みなさんこんにちは、今学期も台北に留学している藤堂智江です。長かった2ヶ月間の夏休みも終わり、9月10日から新学期が始まりました。報告がなかった8月中は福井で集中講義を受けたり、イレギュラーな生活で無意識にたまっていた疲れをとって過ごしていました。今回の報告書では、新学期の生活と中秋節についてお伝えします。

【New Schedule! 新しい時間割】

9月10日から授業が開始した訳ですが、私が日本から台湾に戻ったのはその前夜で、その時点でどの授業を履修すべきかまだ決めることができず、私にとってはちょっとバタバタとした新学期の始まりでした。留学生はどの学科の授業でも、学校のシステム・教授・使用言語が許せば選択できることになってはいますが、最低2つは自分の所属学科の授業を取らなければなりません。私は英語学科に所属しているのですが、授業の開講リストを見る限りどの授業も3単位か私にとってハイレベルなものばかりに見えてなかなか決定できずにいたのです。結局数人の台湾人の友達などに相談に乗ってもらいながらやっと決まった時間割が右の画像の通りです。黄緑で色づけしてある授業が英語学科の授業です。

Time	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
9:00 AM					
10:00 AM		Management @MP203		Introduction to Literature @FG507	
11:00 AM					
12:00 PM			Cross Culture Learning		
1:40 PM					
2:40 PM	Language Assessment @SF207			Gender Education @HE304	
3:40 PM		基礎翻訳@LB103			
4:40 PM					

〈Introduction to Literature〉はこれまでほとんどそういった授業を受けてなかったのと、1年生の必修授業であるにもかかわらず周りの英語レベルが本当に高いことから今学期の私のチャレンジだと思っています。予習には特に力を入れて取り組んでいます。

〈Language Assessment〉という授業は院生の授業で、英語教育、特にどのようなテストが使われるべきかが主な内容です。受講生の中には既に小学校や塾で英語を教えたことがある人も何人かいるため、今までに経験したことのない興味深い授業の形だと感じています。

〈基礎翻訳〉という授業は日本語学科の授業で、日本語から中国語に翻訳をするという授業です。私にはまだとても難しい内容なのでついていくので精一杯ですが、少しでも多くの中国語を吸収したいです。また、タイムテーブルには載っていませんが、他に10月から12月末までは週に6時間、前期と同じく夜間の中国語の授業があります。

更に前学期は参加していなかった活動で、自分の国の文化や言葉を他の学生に伝える、

Cross Culture Learning Project という活動に参加することを決めました。週に1度1時間弱の時間で、応募した最大7人の台湾人に一人でプレゼンテーションを行います。地理的にも文化的にも日本と近い関係にある台湾だからこそそのような内容でやっていけばいいのか悩ましいと感じていますが、頑張ろうと思います！Get out of your comfort zone です！

【再び台湾に戻ってきて】

日本に帰り、久しぶりの地元の風景や家族・友達に会えたときは本当に嬉しくなりました。食べ物については、初めの頃はとても嬉しかったものの、今度は次第に台湾で食べていた物が恋しくなって、早く台湾に帰りたいと思うほどでした(笑)

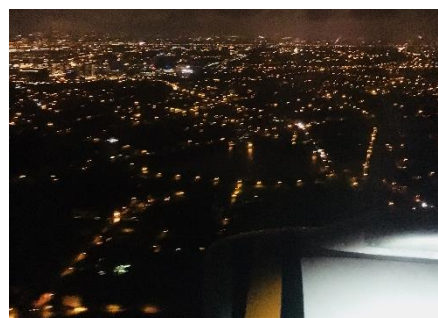
台湾に戻って前期と変わったことは、まず寮のルームメイトが変わったことです。前期は日本人4人で住んでいたのですが、今期は私を含む日本人2人とスペイン人、カメルーン人の4人の部屋になりました。数週間一緒に過ごして、文化から来る生活時間の違いや、話しているときに日本人よりも深く理由を聞かれるなどの違いを感じています。日本ではなかなか外国人と住む機会がないと思うのでこういったチャンスを得られて嬉しいです。

他にもキャンパス周辺の輔仁大学生がとてもお世話になる飲食店などが並ぶ通りが夏休みの間に店が入替わったり、改装されていたりしているのを見て回転が速い街だなあと感じました。

【中秋節】

台湾では中秋節に家の前で焼き肉をするという文化があり、日本語学科の新しいバディが私たちに家に招いてくれました。行ってみると、いとこや叔父叔母などの親戚が集まっています、とても賑やかでした。焼き肉の後は家の中でボードゲームなどもして、台湾の家族団らんを経験しました。つたない中国語でも楽しく会話をしたり、素敵な時間を過ごさせてもらえて、バディには感謝感謝です。最近の日本では多くの親戚が集まって楽しく時間を過ごすという人が減りつつあると思われ、台湾ではずっと続くことを強く願います。台湾人の歓迎的な性格を肌で感じ、この日はとても温かい気持ちになりました。

まだ半月しか経っていませんが、一日一日が濃く、長く感じました。しかし数えてみると留学生活も実質あと3ヶ月半なので、やり残すことないように頑張っていきたいです。



飛行機からの台北の夜景



この日に焼き肉をする理由は誰も知らないようです(笑)